

展覧会名	「イメージをまとう - モチーフジュエリーの魅力 -」
会 期	2015年6月27日(土) - 2015年10月12日(月・祝)
会 場	山梨ジュエリーミュージアム 山梨県甲府市丸の内1-6-1 山梨県防災新館1階(山梨県庁)
料 金	無 料
お問合せ	山梨ジュエリーミュージアム TEL 055-223-1570

展覧会概要

ジュエリーを見て、「好きだな」「身につけたいな」と思う瞬間があります。その思いは一体どこからやってくるのでしょうか。

ジュエリーには様々な魅力があります。宝石や貴金属など素材そのものの美しさ、眼を惹くデザイン、卓越した加工技術、あるいは試着した時の着け心地のよさなどもあるでしょう。これらは、ジュエリー自体の純粋な価値を追求するものだと言えるでしょう。

そうしたものとは別のジュエリーの魅力にモチーフがあります。素材の良さを活かすデザインのあり方とは異なり、花、星、動物など、具体的なものを主題(=モチーフ)にしてデザインされたものがモチーフジュエリーと呼ばれています。人々がモチーフに意味を与え、それゆえにモチーフジュエリーを身につけるといふこと、それは“意味を身にまとう”ことでもあります。

本展覧会では、モチーフがもつポジティブな雰囲気、あるいはモチーフに込められた世界観を「イメージ」という言葉に置き換え、「イメージを身にまとう」という観点から山梨で活躍するジュエリーデザイナー・宝飾作家のイマジネーション溢れるジュエリーの世界、また古くから幸福のシンボルとして伝えられてきたお馴染みのモチーフジュエリーまで、さまざまな作品をご紹介します。かわいらしいモチーフのひとつひとつに込められた意味を想像しつつ、その魅力を感じていただければ幸いです。

主な展示作品



〈次元上昇〉ブローチ・ペンダント
デザイン・制作：山瀬年史



〈お月様のリング〉リング
デザイン・制作：百瀬 健



〈AMULET〉リング
制作：(株)クラウン宝飾



〈母さんライオンの昼寝〉ペンダント
デザイン・制作：清水司朗



〈happy〉ブローチ・ペンダント
デザイン：アテナ宝石デザイン研究所
制作：(株)スズキ工芸



〈香-kou-〉ペンダント他
デザイン：大森弘子
制作：(株)イノウエ

同時開催

第5回水晶美術若手作品展「マニエリスムとイノベーション」

2015年8月22日(土) - 9月14日(月)

主催：山梨県水晶美術彫刻協同組合青年部

国指定の伝統的工芸品である「甲州水晶貴石細工」の起源は江戸時代、享保年間に遡ります。江戸時代末期には産地として確立し、以来現在に至るまで精緻な彫刻・研磨加工の技術が脈々と受け継がれてきました。その歴史と伝統を受け継ぐ若手職人による展覧会を「伝統と革新」をテーマに開催します。

日伊コンテンポラリージュエリー交流展「DIALOGHI - 対話」

2015年9月19日(土) - 9月28日(月)

主催：公益社団法人日本ジュエリーデザイナー協会/イタリアコンテンポラリージュエリー協会

本年で設立50周年を迎える日本ジュエリーデザイナー協会がイタリアのコンテンポラリージュエリー協会と合同で企画展を開催します。両国でのコンテンポラリージュエリーの認知度を高め、その魅力、可能性を発信することを目的に、各国40名、計80名のコンテンポラリージュエリーを展示します。

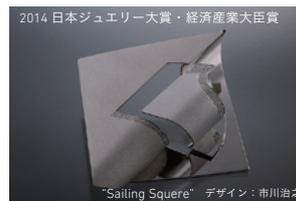
JJAジュエリーデザインアワード2015「日本ジュエリーの最高峰を求めて」

2015年10月3日(土) - 10月12日(月・祝)

主催：一般社団法人日本ジュエリー協会

JJAジュエリーデザインアワードは、ジュエリー文化の発展と未来のトレンドを作っていく次世代のジュエリーの担い手を育成することを目的に、1989年から毎年開催されている日本のジュエリーの最高峰を決めるコンテストです。

全国から応募された作品の中から選ばれた受賞作品を展示します。



体験工房のご案内

山梨ジュエリーミュージアムでは、土、日、祝日にジュエリー制作が体験できるプログラムをご用意しています。ジュエリー産地、山梨で活躍している職人の指導のもと「山梨ジュエリー」のワザを体験できます。



広報用画像

本展覧会をご紹介して頂ける場合に限り、上記掲載の作品画像データを提供いたします。当館サイトからダウンロードできますので、メールでお問い合わせください。ダウンロードアドレスをご連絡します。なお、お問い合わせの際は、下記内容を合わせてお知らせください。

- | | |
|--------------------|-----------|
| ① 希望する作品画像の番号・タイトル | ④ 所在地・電話 |
| ② 媒体名・掲載(公開)予定日 | ⑤ メールアドレス |
| ③ 御社名・ご担当者名 | |

【重要】プレス画像のご利用にあたって、必ずお読みください。

- ① プレス画像の利用は、当該画像に係る展覧会または当館に関する記事掲載の目的での利用に限ります。
- ② プレス画像の掲載に際しては、作家名、作品名、作品情報等在所定のクレジットを必ず記載してください。
- ③ 校正の段階で原稿を山梨ジュエリーミュージアム 広報担当宛 (jewelry-museum@pref.yamanashi.lg.jp) にお送りください。
- ④ プレス画像は全図でご使用いただき、トリミングや文字乗せ等は行わないでください。また、画像が無断で第三者に利用されることのないよう、コピーガード、転載不可の明記など、必要な措置を講じてください。
- ⑤ 画像データは使用後速やかに破棄してください。データの保存および第三者への提供はお控えいただくようお願いします。
- ⑥ 取材の内容及び借用画像が収録・掲載されたサイト・番組等はDVD1枚、印刷物については、現物を1部もしくはコピーの場合は3部ご寄贈ください。

※媒体掲載にご使用いただける印刷用の高解像度(300-400dpi)とオンライン用の低解像度(72dpi)の2種類の画質をご用意しております。